

17議席躍進後初の定例都議会

東京都議選後初めての定例会が18日、開会しました(10月11日まで)。8議席から17議席に躍進し、都議会第3党になった日本共産党都議団の大山とも子幹事長に聞きました。

(聞き手 東京・岩間明子)

大山とも子幹事長に聞く

—今議会に臨む決意を聞かせてください。

大山 共産党の都議会本会議での質問時間



が23分から48分、九つが常任委員会のうち八つが複数委員になるなど、都民要求の実現に向けて、発言する機会が増えました。都民生活の実態を示し、福祉や暮らし、営業を守ることに力を入れる都政への転換に向けて、さらに、調査・提案・論戦の力を磨き、都民の運動と力をあわせながら前進させたいです。

住民と連携を広げ

第3党になりましたが、大型開発優先で、都民生活には冷たい石原前都政を引き継ぐ猪

都民の願い実現へ

調査・提案・論戦さらに

瀬都政のもとで、「オール与党」対共産党の構図に変わりはありません。都民要求実現のためには、都民に広く都議会の状況を知らせ、連携を広げていく必要があります。

—4年ぶりに議案提出権を取り戻しました。

大山 都議選で特に高い関心が寄せられたものの一つに待機児童解消、認可保育園の増設があります。今議会では、議案提出権を使い、認可保育園の用地取得費を都が補助する条例案を提出します。

同時に、活用可能な公有地がどれくらい、どこにあるのかも明らかにしていきます。

都市部で認可保育園を増設する際にネック

になるのが高い土地代と土地の確保です。これまででも公有地や国有地を無償や廉価で提供しよう提案してきましたが、この条例案が成立すれば、公有地活用とあわせ、増設が大きく進むと思います。

条例案を説明するたに、多くの保育団体を回りましたが、みなさん、大きな期待を寄せられました。今後も、さまざまな都民の要求実現のため、積極的に活用していきたいと思えます。

—改選後初の定例会の焦点は。

都民生活が焦点

大山 都議会の開会直前、2020年夏季五輪の東京開催が決ま

りました。国際平和や友好、スポーツの祭典をうたう五輪憲章にもつき、都のスポーツ環境の充実や、都民生活と調和のとれた五輪にしていく必要があります。

自然環境や既存のスポーツ施設を壊すような競技場建設計画を見直すよう、積極的に提案していきたい。特に、五輪を口実にした不要不急の大型開発への莫大(ばくだい)な投資が行われる危険があり、都民の暮らし・福祉を充実するための施策がいささかも軽視されないよう力を尽くしていきます。

ブラック企業をなくし、若者が安心して働ける仕組みづくりや、

国民健康保険料など重い保険料の減免、特別養護老人ホームの増設、防災対策の強化もまったなしの課題です。

安倍政権は社会保障の大改悪と一体になっています。都は、こうした悪政から都民生活を守るためにこそ力を入れるべきなのに、国と一体となって、東京に国家戦略特区を指定し、雇用の規制緩和や法人税の大幅な減税などで多国籍企業の呼び込みを熱中しています。都民のふところを温める施策の充実こそが緊急課題です。横田基地へのオスプレイ配備検討問題など課題は目白押しですが、都民生活を壊そうとする悪政にストップをかけるとともに、都民のみなさんから寄せられた願いに心えるため、党都議団は全力をあげる決意です。